



# FUTABA JOURNAL

静岡市葵区追手町10-71  
静岡 雙葉 学園  
新聞 部  
電話(054)255-0305  
印刷所 ササキデザイン社

## 雙葉生活の始まり



▲弁当を食べる中一学生

4月6日、桜が満開に咲き誇る中、真新しい制服を身にまとった新一年生102名が静岡雙葉に入学した。講堂にて行われた入学式では、一人ひとり林健久校長先生から入学許可をいただいた。新入生代表の言葉では、小学校で社会科見学に行った経験を踏まえ、写真を見るよりも実物を見ることが大切であると語った。在校生からの歌のプレゼントでは、「ハレルヤ コーラス」に加え、昨年の合唱祭の課題曲であったグノーの「アヴェマリア」を一年生に贈った。創立二〇周年の年が終わり、静岡雙葉はまた新たなスタートを切った。生徒一同、仲間や先生方と共に今年も学びの多い一年間にしていきたい。

## 松丸亮吾からの挑戦状

3月6日、本校講堂にて松丸亮吾さんと渡部一弘さんをお招きして、講演会が行われた。当日は本校生徒やその家族、また、近隣の中学、高校からも多くの生徒が訪れた。講演は参加者からの質問にお二方が答えていく方式で進められた。勉強や人間関係、将来についてなど様々な質問が寄せられた。

「未来の夢がたくさんあって決められないです。無理に一つに絞る必要はないと思います。夢を叶えるためにはその夢をたくさん人に言うといいです。言ったことにより、思わぬところでその夢が叶うこともあり、口に出すことで責任が伴います。」

「双葉生の印象。皆さんリアクションが良く話しやすい、あつという間に時間が終わりました。」

「講演会を企画したきっかけ。」

「講演会後の感想。」

## 石の声

▼桜の花びらが散り、青々として新芽が芽吹く5月。だんだんと新クラス、新学年にも慣れ始めたこの頃。昨年の11月のある日のことを思い出した。その日、いつもと同じように友人と登校している道中、路肩に植えてある桜の木に花が咲いているのを見つけた。▼季節外れの桜が咲いていた理由が気になり、調べてみたところ、その桜は「狂い咲き」をしていたことを知った。何らかの原因でホルモンが出ず休眠できなかつた花が気温が丁度良くなった冬や秋に間違えて咲いてしまうという事だった。さらに調べていくと、そのうちのいくつかが花は開かず、翌年の春に花を咲かす。そうすることで、子孫を繋げていくという。▼一度間違えて開花してしまっても、もう一度春に花を咲かせる桜に、自然と自分の姿を重ねていた。私は一度失敗すると、挑戦することから逃げたくなったり、諦めなくなったりしてしまふ。しかし、勇気を振り絞り、もう一度立ち上がり挑戦することが大切であることを桜の木から教えられた気がした。今年度は、いろいろな新しいことに自分から挑戦をし、失敗しても怖がる事なくもう一度立ち上がる強さを身に付けたい。

### 新任の先生

**Q1** 座右の銘  
**Q2** 趣味  
**Q3** 雙葉生へ一言

**英語科**  
**柴田真友子先生**  
**A1** 「You only live once」人生は一度きりという意味です。毎日を大事に生きることが大切と教えてくれます。  
**A2** 英語関連の本を読むことです。タイトルに「英語」とあるとつい手に取ってしまいます。  
**A3** 勉強、課題など日々大変だと思いますが、友達との時間も大切にしながら夢を叶えられるように努力してください。

**音楽科**  
**大石真喜子先生**  
**A1** 「人間万事塞翁が馬」です。何事も前向きに捉えて生きていきたいと思っています。  
**A2** 家族とパーベキューをしたり、友人とお出掛けしたりすることです。  
**A3** 今までより多くの時間を皆さんと共有することができ、嬉しいです。  
**英語科**  
**トレント・ビーティ先生**  
**A1** This too shall pass「これも過ぎ去るだろう」という意味です。  
**A2** ゲームをすることが  
**A3** 雙葉に来ることが

**家庭科**  
**畔地 麗先生**  
**A1** 福沢諭吉の「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」です。  
**A2** 舞台鑑賞で、劇団四季のキヤッツ、宝塚のエリザベートが好きです。  
**A3** 中高生の今、たくさん挑戦してください。

**情報科**  
**金 喜妍先生**  
**A1** 座右の銘ではないですが、自分がいいと思

**国語科**  
**春田初音先生**  
**A1** 仕事をする上で雙葉の校訓を大切にしています。また、日常生活の中で細かいことも丁寧に扱うようにしています。  
**A2** 読書や舞台鑑賞が好きです。読書では、古典の現実離れしている世界観が好きです。  
**A3** 挨拶や人との接し方を丁寧に、一期一会を大事にしてください。

**スクールカウンセラー**  
**望月由美子先生**  
**A1** 「この一球は絶対無二の一球なり」です。一つ一つの事に真剣に向き合うという意味です。  
**A2** 美味しいものを食べることです。  
**A3** 気になることや相談したいことがあれば気軽に声をかけて下さい。

**実行委員にインタビュー**  
**Q1** 講演会を企画したきっかけ。  
**A1** 昨年のFBJCの集いの企画で、世代を超えて楽しめる謎解きの魅力に気がきました。謎解きを楽しみ、また学習面など中高生の悩みに寄り添ったイベントを行いたいと考えました。そして、株式会社RIDDLER代表取締役の松丸亮吾さんをお招きした講演会の開催を決めました。  
**Q2** 講演会を企画するにあたり、苦労したこと。  
**A2** 皆様に楽しんでいただけるイベントにするにはどのようなことをするのが最良か考えることです。企画書の作成や先方とのやり取り、当日の運営など慣れないことばかりでしたが、試行錯誤する中で多くのことを学ぶことができました。

**FBアイス**  
二〇周年特別企画「夢プランチャレンジ」において、生徒投票で一位を獲得した「FBアイス」が実現し、アイス自販機が生徒ホールに設置された。このプランは、中二西組の提案で、「アイスを食べることで勉強に対するモチベーションを上げる」「アイスを通して会話が広がる」と企画された。生徒投票で選ばれた後、中二西組では評議委員会を中心に話し合いが繰り返され、どの自販機を導

入するか検討され、他校での導入実績のあるセブティーンアイスが選ばれた。その後、ルールを検討し、校長先生から許可をいただいた。導入するフレーバーは西組の生徒の多数決で選ばれた。生徒の提案で実現したFBアイス。雙葉生同士の交流や勉強の励みとして大切に活用していきたい。

一面担当 美緒  
二面担当 穂香

# 絆深める学年行事

## 中一

中一は、4月25日26日、例年と異なり一泊二日のオリエンテーション合宿を行った。初めて出会う仲間がほとんどの中、お互いを知り、六年間安心感をもって過ごせる関係構築のために、互いの関わりを深めるため、一日で合唱を作り上げた。互いの言葉に耳を傾けるエクササイズをしたりした。また、夜には焚火を囲んだり、キヤンドルサービスが行われたり、流れ星を探したりと普段とは違う環境で絆を深めた。



▲ 楽器の音を聴いた

## 中三

中三生は、まず、浜名湖ガーデンパークへ向かった。ここでは浜名湖花博2024が行われており、色とりどりの花を見ることが出来た。次に向かったのははままつリゾートパーク。ここで班ごとに分かれバーベキューをした後、フルーツを模した遊具で遊んだ。バーベキューは班員同士でそれぞれ協力して行われ、その後の遊具での遊びも皆楽しんでいた。



▲ エクササイズの様子

## 中二

中二生は、浜松市にある楽器博物館と航空自衛隊の浜松広報館エアパークへ行った。楽器博物館では、地域ごとの伝統楽器や様々な時代の鍵盤楽器の展示がされていた。吹き口がへびの形をしている笛などがあった。楽器を体験できる場もあり生徒はリズムを合わせて楽しんだ。エアパークでは、ブルーインパレスの操縦シミュレーターをしたり、原寸



▲ 浜名湖ガーデンパーク内の展示について

## 高1

高1生は、神奈川県横浜市のよこはま動物園ズラシアに行った。園内では、他の動物園では見られないような動物も間近で見ることができた。一つ一つの檻の前で足を止め、真剣に観察する様子が見られた。時間的に園内全てを回ることはできなかったが、班毎に話し合い計画を立てて回った。土産店では、全国でも珍しいと言われているオカピのぬいぐるみやお菓子を購入する生徒が多かった。



▲ 展望台で富士山と共に記念撮影する

## 高3

高3生は神奈川県小田原へ行った。全クラス小田原城の見学をした後、東組は貝磨きのネックレス作り、西組は蒲鉾作り、南組は絵付け、北組は奇木細工のコースター作りをした。小田原城では城にまつわる歴史を実際に目で見て学ぶことができた。クラスごとの体験では、職人の作っているところを見ながら体験をしたクラスもあった。どのクラスも小田原ならではの体験をして楽しんだ。



▲ 園内の様子

## 高2

高2生は、伊豆パノラマパーク碧テラスとサイクルスポーツセンターへ行った。碧テラスへは全長約1800mのロープウェイに乗り、標高452mでの空中散歩を楽しんだ。ロープウェイの窓から眺める壮大な富士山など景色を楽しんだり、前後左右に揺れるキャピンのス



▲ 蒲鉾を作る様子

## シンガポール研修

3月24日〜29日までの6日間、中二生10名がシンガポール姉妹校研修へ行き、現地の雙葉生と交流した。1日目は、先生方や保護者の方に見送られて静岡を出発した。6時間のフライトを終え、シンガポールの食事を楽しんだ。2日目は、姉妹校を訪れた。初めて会うバディと一緒に校内を見てまわり交流を楽しんだ。3日目は、シンガポールの授業を体験した。慣れない英語に苦戦したもの、周りの生徒やバディに教えてもらいながら交流した。4日目は、マレーシアの姉妹校を訪れ、他国の文化を体験した。夜はナイトサファリを訪れ、ソウシカ、ライオンなどを見た。5日目は他国の文化を学んだ。



▲ ナイトサファリを訪れた

## 離任された先生方



昨年度離任された7名の先生に取材を行った。

- Q1 雙葉での思い出
- Q2 雙葉生の印象
- Q3 雙葉生に一言

### 志村博文先生

A1 高1研修会です。研修会で、みんなが嬉しそうに助け合っていて、天国にいる気分でした。

A2 一つの事を尋ねても、三つぐらいを尋ねても、三つぐらいを尋ねても、答えてくれる所です。若い頃は、知識が少なすぎて苦勞したことが多かったのですが、その問いを深めてくれて助かりました。

A3 皆さんのお陰で、一年間とても充実していました。ありがとうございます。

その後、案内人である生田さんにより周辺の場所の説明を受け、釜ヶ崎の現状を知ることができた。この2日間を通して、釜ヶ崎について深く考えることができ、改めて自分のすべきことを見直す機会になった。

### 釜ヶ崎フィールドワーク

2月16日、17日の2日間釜ヶ崎フィールドワークが行われた。初日は大阪駅に着くと地下鉄へ乗り換え、ホテルのある天王寺へ向かった。2日目は、朝6時に目的地の「あいりん地区」にある三角公園へと向かい、炊き出しがしやすいように身軽な服装で材料の調理



▲ 炊き出しをしている様子

A3 沈黙の優しさや苦しい自分や人へのほほ笑みを大切に下さい。

### 中川志保実先生

A1 合唱祭です。毎年のクラスの合唱もクラスごとの色や個性があり、よりよいものを作り上げようと放課後に練習している皆さんの姿が印象に残っています。

A2 目標に向けてコツコツ頑張るところ、友人と認め合おうとするところです。

A3 神様にいただいた命を大切に、一日一日を生きてほしいと思っています。

### 藤井 亮先生

A1 クリスマス会での部活動発表です。皆さんの一年が弾けた舞台だったと思います。

A2 最初は大人しくて、誠実だと思いました。それだけでなく、やるべきことに真剣に取り組める人たちでもあったと気付きました。

A3 皆さんのお陰で、一年間とても充実していました。ありがとうございます。

その後、案内人である生田さんにより周辺の場所の説明を受け、釜ヶ崎の現状を知ることができた。この2日間を通して、釜ヶ崎について深く考えることができ、改めて自分のすべきことを見直す機会になった。

### 後藤浩文先生

A1 今年度の体育祭です。担任していた高3西組が綱取りで勝ちまくったことが思い出に残っています。

### 前校長先生からのメッセージ

これまでも、度々お話ししてきたことですが、改めて雙葉生に伝えたいのは、先ず、人間は一人ひとりが例外なく無条件に神様に愛されているわけがない。神様が私に期待することは何



かという視点も大切に、神様が自分に託した宿題とは何かを、生涯を通して考え続けていって下さい。

- 第四十七回 静岡県私立書道感想文コンクール 静岡県私立協会優秀賞 中一南 山中美彩貴
- 第二十四回 大阪国際音楽コンクール 優秀賞 中一東 小宮山あずさ
- 第四十二回 富士山学生書写道展 審査委員長賞 高三西 池田 桃香
- 第五十七回 静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト中部地区大会 高2西 池田 菜々
- 第三十一回 静岡県一輪車競技大会5キロマラソン24インチ 高2北 築山 亜弥
- 静岡県百人一首かるた競技ステップアップ大会 総合優勝 高2北 築山 亜弥
- 第八十一回 全国競技かるた大会 静岡市明るい選挙啓発ポスターコンクール 中二南 赤堀 はな
- 令和五年度 静岡県明るい選挙啓発ポスターコンクール 中二東 木脇 寧祐
- 第四十三回 全国高校生読書体験記コンクール 入選 高1北 遠藤 悠未
- 静岡浅間神社新春奉納書道展 神社本庁統理賞 高2西 池田 菜々
- 第七十六回 静岡県かきぞめ展 静岡市長賞 高2南 足野 真子
- 第四十七回 蘇峰会静岡県書道展 静岡県書道連盟賞 高2南 足野 真子
- 第六十九回 青少年読書感想文全国コンクール 中学生の部 入選 中一西 原田みゆう
- 令和五年度 私学協会奨励賞 奨励賞(陸上部) 高2北 橋本 詩音
- 国際協力中学生高校生エッセイコンテスト 高校生部 佳作 高1北 中野 愛子

### 西村純子先生

A1 宿泊合宿や部活動の合宿、研修旅行などに参加したことです。また、宗教の理念が根付いていることに感じています。

A2 誠実なところと真面目で一生涯懸命なところが好きです。

A3 これから学校生活を送る上で、先生と生徒のみんなで力を合わせ、良き学校風土を作っていくて下さい。

加藤琢也先生

A1 体育祭や雙葉祭などといった大きな行事ではなく、日常の些細な事や進路の相談の方が強く印象に残っています。

A2 優しく、お互いのことを思いやるのが出ているのではないで

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

存在だということです。それが自分を含め全ての人を大切に理由にもなります。そして神様は一人ひとりにその人にしか実現できない固有の使命を与えているということ。ですから、何かを選択する時には、神様が私に期待することは何

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S

## 編集後記

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S

今年度も、新聞部一同全力でみなさんの活動の様子をお伝えしていきます。お楽しみに。 Y・S